

## スポーツ応援推進委員会

### 10月24日(土) 東都大学野球リーグを応援 サヨナラ打の勝利



委員長 後藤康夫 (経営3父)

コロナ禍により今年度最初の東都リーグ(2部)がスタート。秋晴れの上尾市民球場の三塁側には全学応援団の応援部員、チア、吹奏楽のメンバーが整列し、緑の応援グッズを身に付けたOBの方々、育友会員が集い試合開始を待ちわびています。いよいよプレーボール!

絶対的エースの佐藤奨真君が拓殖大学に押され気味の展開だったが、2年生の2番手ピッチャーの向井龍介君が6回を1安打に抑える好投を見せ、味方の逆転に望みをつなぐ。しかしいよいよ9回の裏、1点ビハインドで2OUT。もうダメか!と目を瞑る中、ヒットで同点、そして1年生の山本健斗君のサヨナラヒット!スタンドは歓喜の渦となり我が専修大学の勝利に酔いしれました。

野球部の選手諸君本当にありがとう。この勢いで来年の春季リーグでも「専修大学野球部ここにあり」と存在感を示して下さい。尚、10月26日のドラフト会議にて佐藤奨真投手が千葉ロッテマリーンズの育成ドラフトにて指名を受けました。

→佐藤奨真投手



### 心待ちにしていた 観戦

父母幹事 間中真紀  
(経営1母)



秋晴れの10月24日、今年初めての有観客によるリーグ戦を観戦することができました。コロナ禍の影響で、春季リーグ戦も開催されず、大変な環境の中でも選手たちは自分達ができることをして、この試合に挑んできたと思います。色々なことを思いながら、選手たちがユニフォーム姿でグラウンドに立つのを見て本当に嬉しかったです。

この試合を心待ちにしていたのは私だけなかったようで、たくさんの野球好きが観戦に来ていました。久しぶりに感じる熱気に鳥肌が立ちました。逆転サヨナラヒットの勝利に感動です!来年の春も専大野球部の活躍を楽しみにしたいです。

### 拍手のみで プレーを堪能

父母幹事 山上 剛  
(法1父)



いままで無観客開催で「応援」の機会を失っていましたが、待ちに待った現地観戦の再開!相手は拓殖大学。今回の応援は拍手のみでしたので、その分選手のプレーをじっくり見ることができました。守備は堅実で安定感があり、安心して観ていられました。攻撃はチャンスであると1本が出ず、走塁ミスもあって、試合は1点差のまま9回裏ツーアウトランナーなしで絶体絶命のピンチ!しかし、相手のエラーから得たチャンスを生かし、最後は連打で一気に逆転サヨナラ勝ち!スタンドは大盛り上がりでした。今後も観戦の機会があれば、ぜひ参加します!

### 五感で感じる臨場感に 心躍る

父母幹事 鈴木亜寿香  
(法1母)



今年はなにかと騒がれているコロナ禍で、解禁の1試合目は野球観戦!!相手は拓殖大。『凄い!!』広いグラウンド。相手ベンチからの大きな応援の声が自分の席までが聞こえてくる。これぞスポーツ観戦の醍醐味である。どんなスポーツでも五感で感じる臨場感。迫力も違って心も踊る。私たちも、負けずに応援をするが前半に入れられた得点で相手リードのまま9回裏専修の攻撃。ひとりまたひとりたたて続けに得点が入りサヨナラで逆転勝利!!『ウワー!!』と会場が一気に沸き、歓喜の渦へ。最後まで諦めない…スポーツの楽しさを改めて感じた試合だった。今後の活躍も期待!!(\*^\*)v